

令和元年度 第3回 市長と語る車座ミーティング（意見交換概要）

【開催日時】 令和元年 10 月 31 日（木）午後 4 時 00 分～午後 6 時 10 分

【開催場所】 本庁舎 2 階 第 2 委員会室

【申込団体】 東御市男女共同参画推進委員会

【参加者数】 7 名（市長、市職員を除く。）

【懇談テーマ】 市長が考える男女共同参画について



※議事については、主な内容を抜粋して掲載しております。

個人のプライバシーに関する部分などについては、一部内容を割愛しております。また、意見交換の内容は開催日時点のものであり、現在の状況と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

【概要】

（市長）

最初に市から台風 19 号の状況をお話しさせていただきたいと思います。

～台風 19 号被害状況について説明～

今世界では、少子化、少産化の時代になってきており、また、高齢化が進んでいます。日

本は、外国に食料・食物を頼っている。一定の農業は守らなければいけない。男女共同参画のベースは「人権」である。「いい人生だった」と言って死にたい。東御の日の記念講演に上野千鶴子さんから女性が活躍するためには、幹部女性の登用率を高める必要があると言われた。地域の女性活躍率の目標を決め、推進しているので、少しずつ良くなっているように感じる。

(会員)

地域の活性化についてお聞きしたい。食料不足であるので、食料の自給自足の経済が良いのではないかと思います。地産地消を進めていきたい。男女共同では、個人が自分の力を発揮し、人権を大切にしていきたい。日本は、外国人労働者が増えてきている。家庭や価値観の違い、多様な人が増えている中、どうしていくのか。

(市長)

自給自足の考え、外貨を稼ぐ・獲得することは大きな課題です。エネルギー問題も課題ですね。

(会員)

外貨を稼ぐことについては、どのようなお考えですか。

(市長)

東御市では6次産業を進めていきたい。ふるさと納税3億円を目標としている。湯の丸があるので増えてきている。関係人口の増加が考えられる。湯の丸は、トップアスリートだけでなく、市内小中学生、障害者にも使えるユニバーサルな施設にしていきたい。また、ワインバレー(ワインツーリズム)が自慢になれるような市にしたい。地域で循環していく地産地消、6次産業、スポーツツーリズム、高地トレーニング用プールによって外貨を稼げる市を目指したい。

(会員)

反対している人の意見が強いと感じるけれど、反対している人だけではない。賛成している人もいる。

(会員)

湯の丸に宿泊できる湯の丸ホテルができてよかった。

(市長)

令和2年6～8月オリンピック関係で、水泳連盟が貸し切りをします。

(会員)

外国人の関係ですが、上田市は、人口増加があり学生が多いです。東御市でも日本語学校の誘致はいかがですか。

(市長)

国道 18 号沿いに以前日本語学校があったが今はない。外国人の受け入れに本腰を入れた
い。外国籍児童が多い小学校もあるので、指導教員が外国籍児童の対応をしている。行政が
追いついていないと感じる。東御市に住んでよかったといえるような、市になりたい。

（会員）

東御市は、少子化、特に 15～20 代女性が減っている。子どもたちに、すばらしいとうみ
の文化の育成をして欲しい。サンテラスを文化の拠点としてほしい。

（市長）

信州学として、この地域の風土、気候、歴史に学び、ふるさとを大切にする子どもを育て
ていきたい。教育が大切と考えている。